

# 暖地向けイタリアンライグラス いもち病抵抗性新品種 「さちあおば」



独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構  
農林水産省 農林水産技術会議事務局

## ○いもち病抵抗性

### イタリアンライグラスのいもち病

イタリアンライグラスは冬季の最も良質な飼料として広く栽培されています。しかし、近年、九州地方を中心にイタリアンライグラスにいもち病 (*Pyricularia* sp.、写真1) が多発し、大きな被害を及ぼしているため、抵抗性品種の育成が要望されてきました。

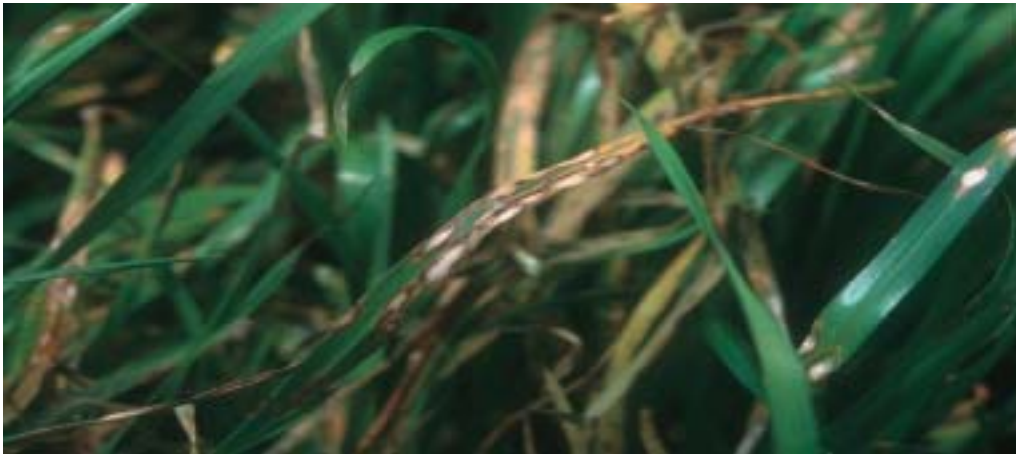


写真1 イタリアンライグラスいもち病

### いもち病抵抗性の新品種「さちあおば」

そこで、我が国初のいもち病抵抗性を持つイタリアンライグラス極早生新品種、「さちあおば」を育成しました(写真2の右)。従来の標準品種「ミナミアオバ」(写真2の左)は、自然感染したいもち病に激しく罹病しています。



写真2 いもち病罹病程度の品種間差異

## ○冠さび病抵抗性

「さちあおば」は、いもち病に加えて冠さび病に対する抵抗性も強く、西南暖地で最も重要なこれらの病害に対する唯一の複合抵抗性品種です（表1）。

表1 「さちあおば」の特性

品 種 名	出穂期* (月日)	いもち病 抵抗性	冠さび病 抵抗性	耐雪性
さちあおば	3.19	中	強～極強	極弱
ミナミアオバ	3.25	極弱	中	極弱

\*山口県農業試験場

## ○収量性

### 播種年内の収量性といもち病

いもち病抵抗性があるため、従来 of 極早生品種より2～4週間ほど早い9月上旬からの早播が可能で、9月下旬までに播種すれば、年内にも収穫できます（図1）。ただし、8月下旬より早播きする場合は、土壌菌による苗立枯れ症に十分注意が必要です。

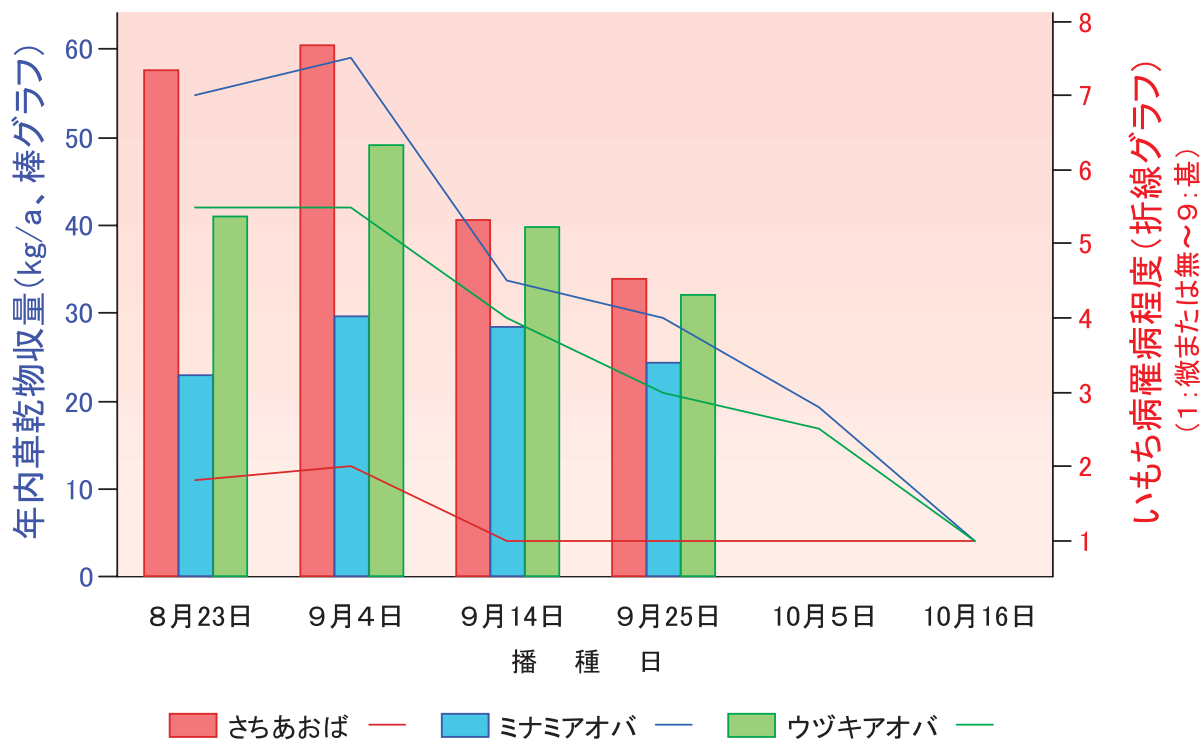


図1 年内草の収量性といもち病罹病程度

## 春の収量性と播種適期

年内草と同様、春の「さちあおば」の収量も、他品種に比べて多収が期待できます（図2）。

「さちあおば」の播種適期の幅は広く、9月上旬～10月下旬まで播種が可能です。

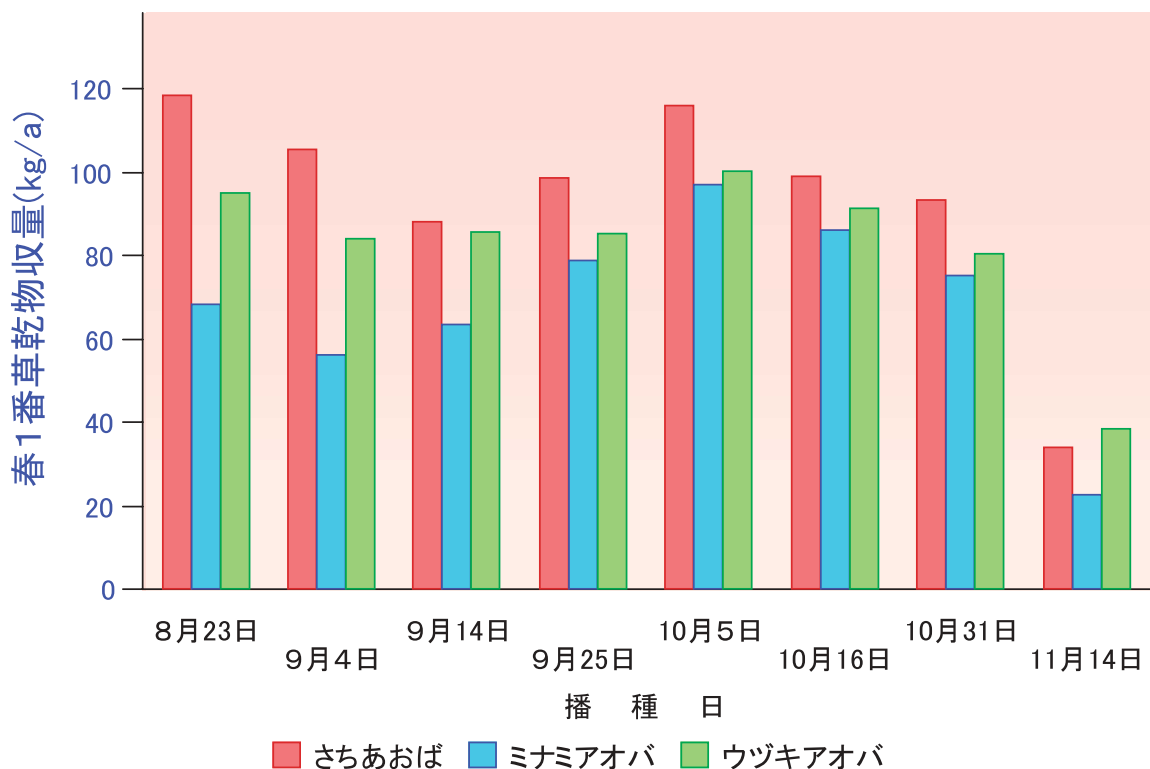


図2 春1番草の収量性

## 問い合わせ先

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構  
畜産草地研究所  
〒329-2793 栃木県那須塩原市千本松768  
TEL : 0287-36-0111 E-mail : nmizuno@affrc.go.jp

山口県農業試験場 牧草育種指定試験地  
〒753-0214 山口県山口市大内御堀1419  
TEL : 083-927-0211 E-mail : a17201@pref.yamaguchi.lg.jp